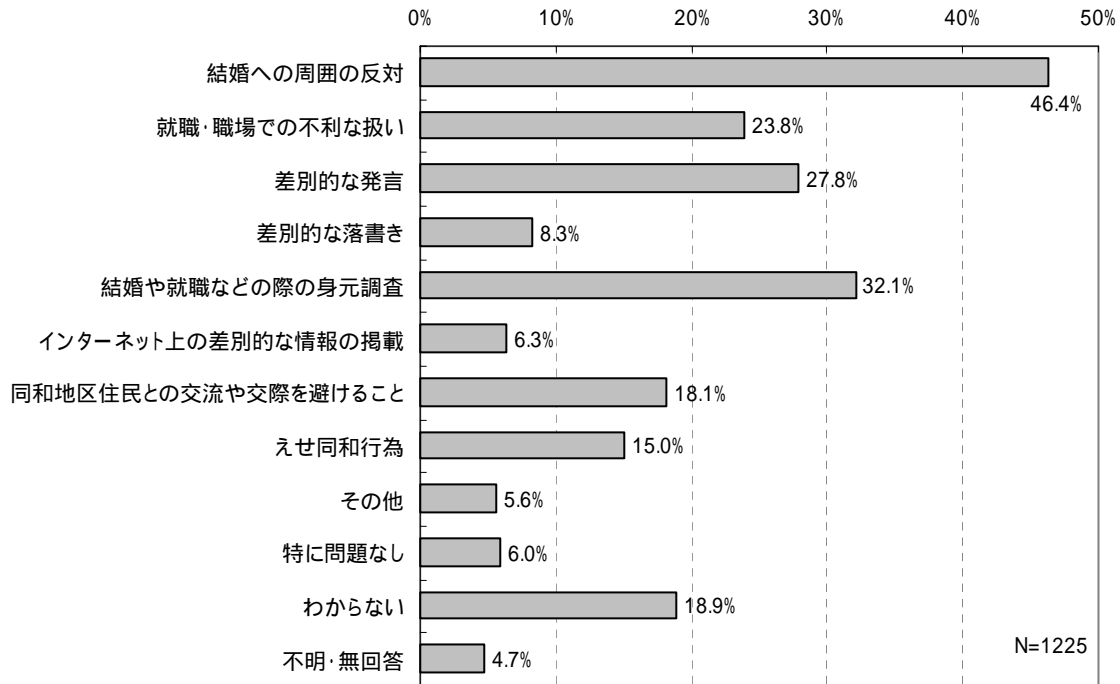


同和問題と解決に必要な取組

問 15 同和問題について、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。
(はいくつでも)



「結婚への周囲の反対」(46.4%)が最も高く約5割となっている。次いで、「結婚や就職などの際の身元調査」(32.1%)、「差別的な発言」(27.8%)、「就職・職場での不利な扱い」(23.8%)となっている。

性別・年齢別

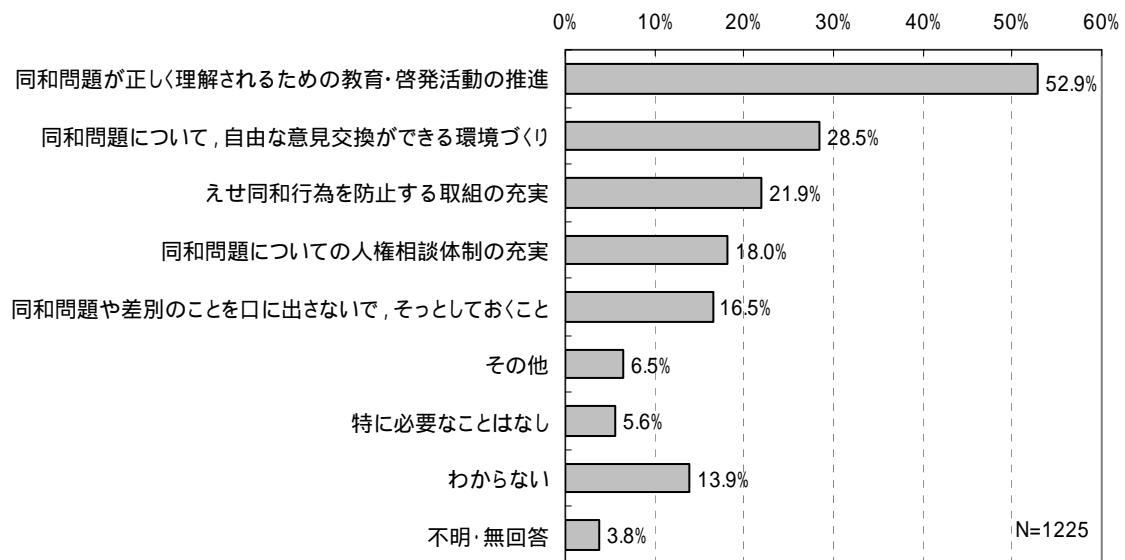
(%)

		結婚への周囲の反対	就職・職場での不利な扱い	差別的な発言	差別的な落書き	結婚や就職などの際の身元調査	インターネット上の差別的な情報の掲載	同和地区住民との交流や交際を避けること	えせ同和行為	その他	特に問題なし	わからない
全体	N=1225	46.4	23.8	27.8	8.3	32.1	6.3	18.1	15.0	5.6	6.0	18.9
男性	N=532	41.7	25.2	28.8	10.2	32.7	7.0	19.5	21.8	6.8	6.2	15.8
女性	N=677	50.4	23.0	27.3	6.9	31.8	5.9	16.8	10.0	4.9	5.9	21.6
20歳代	N=135	34.8	31.9	37.0	10.4	27.4	6.7	23.7	10.4	5.9	3.7	20.7
30歳代	N=189	49.2	23.8	34.9	14.3	34.9	9.5	24.3	23.3	9.5	2.6	19.0
40歳代	N=178	50.6	28.1	34.8	8.4	34.3	9.0	19.1	16.9	9.0	5.6	11.2
50歳代	N=238	53.8	31.1	31.1	10.5	35.3	8.0	14.7	17.2	5.0	5.9	17.2
60歳代	N=238	47.1	16.8	20.6	4.6	30.7	3.4	16.0	12.2	4.2	8.8	21.0
70歳以上	N=234	39.7	16.2	15.8	3.8	29.1	3.0	14.1	11.1	2.1	7.7	23.9

性別で見ると、男女とも「結婚への周囲の反対」が最も高く、女性の方が10ポイント近く高く、5割を超えている。一方、「えせ同和行為」については、男性の方が10ポイント以上高くなっている。

年齢別で見ると、ほぼすべての年齢層で「結婚への周囲の反対」が最も高くなっている。また、年齢が低いほど「差別的な発言」が高くなる傾向が見られ、「同和地区住民との交流や交際を避けること」については、20歳代及び30歳代と50歳代以上で差が見られる。

問 16 同和問題を解決するために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。
(はいくつでも)



「同和問題が正しく理解されるための教育・啓発活動の推進」(52.9%)が最も高く5割を超えている。次いで、「同和問題について、自由な意見交換ができる環境づくり」(28.5%)、「えせ同和行為を防止する取組の充実」(21.9%)となっている。

性別・年齢別

(%)

		同和問題が正しく理解されるための教育・啓発活動の推進	同和問題について自由な意見交換ができる環境づくり	えせ同和行為を防止する取組の充実	同和問題についての人権相談体制の充実	同和問題や差別のことを口に出さないで、そっとしておくこと	その他	特に必要なことはなし	わからない
全体	N=1225	52.9	28.5	21.9	18.0	16.5	6.5	5.6	13.9
男性	N=532	51.1	29.5	27.6	18.6	16.4	8.8	6.8	12.2
女性	N=677	54.9	27.9	17.7	17.7	16.7	4.9	4.9	15.2
20歳代	N=135	59.3	25.2	13.3	14.8	13.3	6.7	2.2	13.3
30歳代	N=189	58.7	26.5	29.6	22.2	12.2	11.1	2.6	13.2
40歳代	N=178	60.1	29.2	27.5	20.8	14.6	8.4	3.9	10.1
50歳代	N=238	52.9	29.8	24.4	19.3	11.3	8.8	8.8	12.6
60歳代	N=238	47.9	34.5	18.9	16.4	20.6	3.8	6.3	15.5
70歳以上	N=234	45.3	24.4	17.5	15.0	24.4	2.1	7.7	17.5

性別で見ると、男女とも「同和問題が正しく理解されるための教育・啓発活動の推進」が最も高く5割を超えている。また、「えせ同和行為を防止する取組の充実」については、男性の方が10ポイント近く高くなっている。

年齢別で見ると、すべての年齢層で「同和問題が正しく理解されるための教育・啓発活動の推進」が最も高く、40歳代では6割を超えている。

また、60歳代以上では「同和問題や差別のことを口に出さないで、そっとしておくこと」が2割となっている。